

～ 別 院 だ よ り ～

本 願 力



落成間近の本願寺 横浜別院・神奈川教化センター

発行

真宗大谷派 本願寺横浜別院

〒234-0051

横浜市港南区日野一―十一―八

TEL (〇四五)八四一―三四三四

(<http://www.yokohama-ootani.com>)

あなたにお出でいただきたい

輪番 竹部 俊恵

教育の話で恐縮ですが、今、滋賀県では、知事と一部保守系県議との間で、こんな議論が展開されています。知事は、来年度の教育施策で「学ぶ力」を重視したいと述べたところ、それに対し、県議は学力テストの点数アップに直結する「学力」を前面に打ち出すよう求めて「『ぶ』は不要」と反論しました。おそらく知事は「学ぶ力」は「学ぶ意欲・関心・態度を高めていけば、必ず学力向上に繋がる」と主張しているのでしょう。ただ、これには当然時間がかかります。それに対し、保守系県議は、学力調査にすぐ効果の上がる点数の取り方を教えるべきだと言うのでしよう。この先どうなるかは滋賀県議会に任せるとしても、なかなか興味深い論戦だと思います。

なぜなら、最近、わが国において政治・経済は言うに及ばず、文化・宗教に至るまで、知事の発想よりは、一部保守系県議の発想一辺倒だと思っからです。宗教においてもその傾向は顕著で、現代人が宗教に求めるものは「今だけ・金だけ・自分だけ」に象徴される、県議のような即効的ご利益がほとんどです。しかし、その結末は、空しさや、無力感、孤独感を増幅するだけで、むしろ、「宗教はこわい。宗教は無意味だ」と言われ「宗教離れ」が加速しています。このような、とりあえずのお願いが宗教のように思われ、宗教法人も、とりあえずそのニーズにお応えしていると、本来、宗教が担うべき、生きること・老いること・病むこと・死ぬこと等「いのち」の真実を求める歩みを止めてしまうこととなります。今、本当に私たちが求めるのは、そのような、とりあえずの宗教ではなく、今、どのような境遇を生きていようが、その私を生かすはたらくに目覚めさせる教えに、共々に出遇つていくことでしょう。今回の御遠忌はそのことに深くうなづかれた親鸞聖人を追慕し、残された言葉に私を聞かせていただき、生きていることの根っこを讃嘆させていただきました。皆様の御懇念により、いよいよその歩みが現実のものになってきました。四月二十五日（土）、二十六日（日）に、修復なった本堂、新築された神奈川教化センターで、あなたと出遇えることを楽しみにしております。

合掌

御遠忌巡回講座開催(全四回)

御遠忌事業の一つに「御遠忌巡回講座」があります。巡回講座は、横浜別院崇敬区域(神奈川県四ヶ組)である横浜組、川崎組、三浦組、湘南組の四つの組に別院が出張しての講座で、初めての試みでした。

講師には、筑波大学名誉教授の今井雅晴先生をお招きし、「親鸞と東国へ神奈川県を舞台としての活躍」という講題で、次の内容をお話いただきました。

- 一、越後から関東へ
- 二、関東での活動(主に北関東)
- 三、神奈川県での活動(五十五歳頃から)
- 四、鎌倉幕府の執権北条泰時の一切経校合に招かれる
- 五、箱根権現、帰京途中の親鸞をもてなす。(一二三二年か、それ以降の近い年)
- 六、『親鸞伝絵(御伝鈔)』

今井先生のお話を聞いた参加者からは、親鸞聖人のイメージが変わった。神奈川県とゆかりがあるとは知らなかった等、驚きの声が多く聞かれました。



第一回御遠忌連続講座(二月七日)

御遠忌事業の「御遠忌連続講座」初めての親鸞の第一回が地下鉄港南中央駅前にあるサバスホールを会場として開催しました。

この講座は、地域の人たちに親鸞聖人の教えに出会って欲しい、聞いて欲しいという願いのもと企画されました。講師として、東京都世田谷区にある存明寺住職酒井義一師にお出でいただきました。

酒井先生のお話は、『親鸞は生きている』というサブテーマのもと、非常に分かりやすい内容でした。特に、宗祖親鸞聖人七百五十四御遠忌ソングである『今、いのちに目覚めるとき』という歌が法話の合間に流されて、その歌詞やメロディーには感慨深いものがありました。引き続き、ご参加ください。

- 【第二回】三月七日(土)午後一時三十分
- 【会場】サバスホール【講師】新井義雄師
- 【第三回】四月四日(土)午後一時三十分
- 【会場】本願寺横浜別院【講師】竹部俊恵師



本堂修復・神奈川県教化センター新築工事完了報告(三月一日)

昨年一月より、工事が開始され、あれから一年間が過ぎました。この度、皆様のおかげで、無事に工事を完了することができました。三月より、ご法事も本堂でお受けできるようになります。装いも新たになった別院をぜひご活用ください。※写真は二月下旬に撮影したものです。





宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要
別院門徒懇志者について⑥

二〇一三年十一月より、御遠忌法要ご門徒懇志金(寄附)をお願いしておりますが、二〇一五年二月二十八日現在の募財状況をお知らせさせていただきます。

【横浜別院門徒懇志金】
金 43,717,238円(3255件)

ご門徒の皆様の尊いご懇念のおかげで、目標金額(4,150万円)を達成することができました。深いご理解とご協力のおかげです。心から厚く御礼申し上げます。

今回で最後の芳名披露となります。本当にあ

りがとうございました。
御遠忌法要の参詣をお待ちしております。

【芳名披露】(二〇一四年十二月十一日から二〇一五年二月二十八日まで・敬称略、順不同)
南谷敏江、鈴木康司、島田武彦、浅田富広、

川本修、竹内龍男、廣瀬佐代子、永田与四郎、御園昭宏、田中正春、北村都企子、渡邊強一、小野田美苗、山本幸男、近江一男、佐土原坦、藤野定利、田畑諭、河原雅晴、鈴木志利美、田中徳子、金持忠、黒宮恵美子、加納靖夫(追加分)、田中貴章(追加分)、渡邊義次(花瓶寄附) 以上

神奈川四ヶ組寺院・ご住職、ご門徒の声
これからの別院に期待すること②

「神奈川教化センターの運営について」

(横浜組・西教寺門徒 森田勉)

神奈川教化センター落成後の運営活用については、いまだ、確固たる具体的な方針が定まっていないとの事につき、私自身愚考してみました。

大前提として、仏法聴聞や交流に資する場として、神奈川のみならず、広く首都圏の教化活動の一翼を担うための研修、集会の場として活用していく事は言うまでもありません。しかしながら、地域に密着した皆さんのために、文化的発信の場としての活用をテーマとして行う事も極めて大切な事であると、考えます。

私達真宗門徒には、日々当然のごとく称えて

いる「御念仏」についても、御縁のない方々には、極めて異常な稀有な感じを持たれていることも、多々ある事だと思えます。昔から、寺院は、文化、教育等、すべての生活の中心的存在として、その地方の大切な役割を果たしてきたのです。せめて、その一端としても、文化的発信の場としての役割を担える様になりたいものです。

具体的には、①年数回のコンサートの開催②年数回の仏法に囚われない文化講座の開催③絵画教室、囲碁、将棋教室、会話教室の開催④大谷幼稚園を中心としてのひな祭りやお花祭りなど諸行事との連携…。

なかなか、具体的には難しい事も多いかと思いますが、所謂開かれた「寺」としての存在を別院が率先して示し、一般の方々に「あ、あ、お寺とはこんなにも明るい、楽しい所なんだ、お葬式だけをやる所ではないんだ」「真宗大谷派とはこんなに真面目に、真剣に地域に取り組んでいるんだ」と、認識して頂き、それが、ひいては、私達同朋の広がりにつながるべくもありません。

そのため、対応できるセクション、人員、予算、諸規定等難しい点は多々あるかと思えます。しかしながら、これからのお寺はあくまで「準公の場」を提供する、楽しい場であるべきと考えます。それが取りも直さず、寺離れを防ぎ、「仏法」を広めるために一般の方の目を寺に向けさせる、大切な一助になると信じます。現実にはかなり困難だと思えますが、私達門徒の内々の者だけが考えていることは、きわめて矮小な、一人勝手な考えになっている事が多いのではないかと危惧するのです。

二〇一四年度第五回 横浜別院声明儀式研修会のご案内

【日時】三月二十六日(木) 午前十時～午後五時

【講師】鈴木友好師(本廟部・堂衆)

【内容】横浜別院御遠忌法要習礼①

【会場】本願寺横浜別院

【参加費】無料 ※寺院対象の研修会です。

今春の別院御遠忌に向けて、法要次第に沿った内容の研修を行います。白服・間衣・輪袈裟にて、「大谷声明集(上)」、「昭和法要式」、「真宗の儀式」等を持参ください。御遠忌に出任される方は、習礼も兼ねますので、裳付・五条袈裟・差貫をお持ちください。

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要(ご案内)

宗祖親鸞聖人の五十年に一度という御遠忌法要にあたり、別院門徒・有縁の方々等、一人でも多くの方をお誘いいただき、ご参詣くださいますようお願い申し上げます。詳細については、御遠忌法要参詣チラシをご覧ください。

【四月二十五日(土)】

逮夜 (十三:〇〇)

帰敬式 (十五:〇〇)

夕べのつどい (十八:三〇)

【四月二十六日(日)】

晨朝 (七:〇〇)

法話・稚児行列 (十:〇〇)

日中 (十三:〇〇)

行事予定

三月

定例法話 午後一時半より

九日(月) 横浜組・智廣寺 橋本 正博 師

四月

定例法話 午後一時半より

九日(月) 三浦組・圓照寺 稲垣 裕之 師

※三月十八日、二十八日、四月十八日、二十八日はお休みです。

春季彼岸会法要 ご案内

【日時】三月二十一日(土)～二十二日(日)三日間

【法要】毎日午後一時半より

【法話】藤村 潔 師(同朋大学非常勤講師)

~~~~~  
お彼岸をお迎えするにあたり、私どもに先立って歩んでくださった方をとおして念仏の教えに耳をかたむけたいものです。そろってご参詣ください。

### 編集後記

立春を向かえ、少しずつ暖かくなつてきているように感じます。春先は、三日と同じ天氣が続かないといわれていますが、天気予報を見ると「なるほどなあ」と頷かされます。

さて、ご周知のとおり、二〇一三年年末から本堂修復・庫裏建替え工事が始まり、本年三月に入り工事が完了しました。工事完了に伴い、現在引越などでバタバタしております。まだ什器備品などが揃っていない箇所もありますが、使い勝手のいい施設になっております。

皆様には、ご不自由をお掛けしておりましたが、これからは通常業務に戻ります。四月には御遠忌法要が厳修されます。是非、新しくなった別院にご参拝をお待ちしております。

合掌  
(佐竹)

